

【平成 30 年度 自己評価結果公表シート】

学校法人駒沢苫小牧学園

駒沢苫小牧幼稚園

1. 本園の教育目標

仏教精神をもとにして、全てのものに感謝し、他人を思いやる優しい心を育てるとともに、友だちや先生との交流を通して、集団生活に適応し、発達段階にふさわしい基本的な生活態度を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領が改定されたことを踏まえて、幼稚園の教育課程の内容を確認する。また、今年度から導入したタブレット端末を駆使して教職員の共通認識をはかるとともに、より良い保育を効率的に行っていくことを目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解を図る。	幼稚園教育要領を園内の共有フォルダに公開し、いつでも目に触れられる環境を整えた。また幼稚園教育要領改訂を題材とした研修会に専任教員全員が参加し、本園の実際の保育に結びつき方を話し合っている。
幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	パソコンとタブレット端末を駆使して教職員の共通認識と仕事の効率化をはかるとともに、より良い保育を構築していく話し合いを行っている。また、実際にシステム化が進んでいる幼稚園を訪問し指導を仰いでいる。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	毎年参加している、複数の研修会で公開保育を体験し、他の幼稚園の先生とのディスカッション等で感じたことなど、本園でフィードバックを行っている。また、それらを共有のフォルダに置いていつでも目の届くところに公開している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	行事などについてアンケートを実施し、結果については、常にHPやお便りで公表している。また、改善すべきことは、積極的にPTAと相談しながら改善していく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	パソコンとタブレット端末を駆使して、教職員が共有で認識するシステムを構築し、それぞれが情報をいつでも見られる環境を整えた。話し合いだけでなく、本園の方針等も随時更新し園内で教職員が共有しながら話し合いすることが出来た。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
特別支援教育	苫小牧市から案内されたフェイスシートを参考に、本園独自のシートを作成し対応しているが、園と保護者だけではなく、医療・福祉の関係機関との連携を今後検討し構築していきたい。
保護者との連携	本園の教育理念を尊重していただいた上で、保護者の希望や意見を出来るだけ対応していく環境を構築していく。また、それらを本園と保護者で共有できる環境を構築していく。
環境整備	老朽化した園舎・遊具・園バス等色々と模索しながら、低予算で改善していきたい。園児が常に笑顔になるような環境整備を心がけていく。

6. 学校関係者の意見

関係者からは、おおむね良好な運営をされ、学校評価にも積極的に取り組まれているという意見をいただいた。